

六角川水系緊急治水対策プロジェクト【中間取りまとめ】

資料-1

～関係機関が連携し、逃げ遅れゼロと社会経済被害の最小化を目指す～

- 令和元年8月豪雨において甚大な被害が発生した、六角川水系における今後の治水対策の方向性として、関係機関が連携し「**六角川水系緊急治水対策プロジェクト【中間取りまとめ】**」を取りまとめました。
- 引き続き、関係機関が連携を図りながら、具体化に向けた検討及び実践を行って参ります。

「六角川水系緊急治水対策プロジェクト」 ～六角川水系における今後の治水対策の方向性について～

①被害の軽減に向けた治水対策の推進 (河川における対策)

- 六角川水系牛津川では、これまでの観測史上最高水位を更新する大きな洪水が発生し、堤防からの越水が複数発生するなど、治水施設の限界を超えるような事象が発生
→被害の軽減に向けた治水対策を加速化し推進を図る。



佐賀県多久市内における浸水被害状況

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進 (流域における対策)

- 有明海に注ぐ、六角川水系は大きな干満差と低平地の佐賀平野の地形特性により、これまでも度々支川の氾濫被害を被ってきた。
→地域及び関係機関等が連携して浸水被害の軽減対策について検討し、取組を進める。



佐賀県小城市内における浸水被害状況

③減災に向けた更なる取組の推進 (まちづくり、ソフト施策)

- 堤防からの越水や支川の氾濫などによる様々な浸水形態により、各住民が適切な避難準備、避難行動等を的確に取ることが困難であった。
→住まい方の工夫と、きめ細かな情報提供等を関係機関が連携し実施する事により、「減災」の取組を推進する。



佐賀県大町町内における浸水被害状況

<主な取組メニュー>

- 河川水位を低下させるための取組
(例)・遊水地等の洪水調整施設の整備
・洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進
・河道内の土砂掘削による洪水流下断面の拡大
- 施設規模を上回る洪水に対する取組
(例)・危機管理型ハード対策
- 既存施設を活用した洪水被害軽減対策の検討

<主な取組メニュー>

- 支流の流出抑制・氾濫抑制の取組
(例)・ため池等既存施設の有効活用
・クリークを活用した雨水貯留容量の確保
・雨水貯留施設、幹線水路網の整備等
- 既存排水機場の耐水化の取組
(例)・排水機場の耐水化の推進
- 浸水被害を軽減する取組
(例)・排水機場等の整備

<主な取組メニュー>

- 住まい方の工夫に関する取組
(例)・「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
・住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組